

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	22-401	佐賀県医療センター好生館 角南隆史 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
<b>題名 (原題/訳)</b>		
COVID-19 pandemic and alcohol consumption: Impacts and interconnections COVID-19 パンデミックとアルコール消費。影響と相互関連性		
<b>執筆者</b>		
Calina D, Hartung T, Mardare I, et al		
<b>掲載誌</b>		
[published correction appears in Toxicol Rep. 2021 Sep 2;:]. Toxicol Rep. 2021;8:529-535. doi:10.1016/j.toxrep.2021.03.005		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール依存症、コロナウイルス感染症、ロックダウン		34490071
<b>要旨</b>		
<p>飲酒は複数の疾患と関連しており、SARS-CoV-2 感染に対する脆弱性に寄与している可能性があります。また、精神疾患や器質的疾患の悪化を促し、感染リスクや疾患の重症度を高めるだけでなく、反社会的な行動や暴力にもつながる行動を起こしやすくなると考えられます。世界的に見ても、毎年、数百万人がアルコールの過剰摂取により早世しています。この論文では、現在の COVID-19 のパンデミック時の社会的隔離とロックダウンの際に、アルコール消費量の増加が人々の健康に及ぼす影響と、その結果について論じています。</p>		